

地球で最後のふたり (2003)

LAST LIFE IN THE UNIVERSE

メディア 映画

ジャンル ロマン스 ドラマ

製作国 タイ/日本/オランダ/フランス/シンガポール

色彩 Color

時間 107分

初公開日 2004/07/31

公開情報 クロックワークス

【キャッチコピー】

言葉をこえて、
たしかにぼくらは愛をみつけた

【解説】

潔癖症で自殺願望のある日本人男性と奔放で勝ち気なタイ人女性、対称的な2人がふとした偶然から出会い、少しずつ心を近づけていく姿を静かなトーンでスタイリッシュに描いたラブ・ストーリー。監督は「わすれな歌」のペンエーグ・ラッタナルアーン。また、撮影はアジアを中心に活躍するクリストファー・ドイルが担当。浅野忠信が2003年のヴェネチア映画祭コントロコレンテ部門で最優秀主演男優賞を受賞。

バンコクの日本文化交流センター働くでケンジは、病的なほどの潔癖症で、身の回りの全てを清潔に保ち、周囲との関わりを避けるようにして生きていた。そして、毎日のように自殺を試みようとするのだった。そんなケンジのもとに日本でトラブルを起こしたヤクザの兄・ユキオがやって来た。一方、外国人向けのクラブで働くノイは男のことで妹ニッドと激しくやり合う。興奮し車から飛び出したニッド。すぐそばには、川に身投げしようとするケンジの姿があった。その直後、ニッドは車にはねられてしまう。それを目撃したケンジは動揺するノイに付き添い病院に向かう…。

【クレジット】

監督	ペンエーグ・ラッタナルアーン	Pen-Ek Ratanaruang	
脚本	ペンエーグ・ラッタナルアーン	Pen-Ek Ratanaruang	
	プラープダー・ユン	Prabda Yoon	
撮影	クリストファー・ドイル	Christopher Doyle	
出演	浅野忠信	Tadanobu Asano	ケンジ
	シニター・ブンヤサック	Sinitta Boonyasak	ノイ
	ライラ・ブンヤサック	Laila Boonyasak	ニッド
	松重豊		ユキオ
	竹内力		
	三池崇史		